

12月定例会・議案など	2
12月定例会・一般質問	3～7
議案等に対する各議員の賛否状況	6～7
委員会等活動報告	8
議員の行政視察など	8

令和元年10月9日から令和元年12月31日までの出来事を掲載しました。



令和元年12月25日(水)、議場で行われた第9回弘前子ども議会の様子です。

議 会 ト ピ ッ ク ス

全議員対象にタブレット端末導入に係る デモンストレーションを実施

タブレット端末導入協議会は、令和元年11月29日(金)に全議員及び一部職員を対象にしたタブレット端末のデモンストレーションを議場で実施しました。事業者2社の協力を得られたため、2社それぞれのシステムの説明を受けながら、準備されたタブレット端末を実際に操作して、使用方法やその利便性を確認しました。



説明を受けながらタブレット端末を操作している様子

国旗と市旗の掲揚方法を変更



これまで、国旗と市旗を議場に掲揚しておりましたが、よく見えない状況でありました。このたび国旗と市旗を議場の壁に掲揚することで、はっきりとよく見えるようにいたしました。

令和元年第3回定例会

市長提出議案 31件

【会期：令和元年11月29日(金)～12月20日(金)】

○事件処分の報告及び承認について（事件処分第1号）

【令和元年度弘前市一般会計補正予算（第4号）】

小・中学校冷房設備設置事業について、工事設計額に対して予算の不足が見込まれることから予算を追加することとし、この措置に急を要したため処分したものです。 補正額 1億3105万6千円

○指定管理者の指定について

弘前市民会館の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

指定管理者：ひろさきトールツリーグループ

指定の期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日

12月補正後の令和元年度予算

一般会計 793億1544万2千円

(12月補正額 18億3074万6千円)

特別会計 415億4795万1千円

(12月補正額 1億5029万2千円)



弘前市民会館の指定管理者の指定については原案否決となった。

厚生常任委員会での審査の過程で下記のような意見が出ました。

○市は、市外事業者を含むグループにも応募資格を認めることにより市民サービスのレベル向上、効果的・効率的な施設運営や利活用につながる提案が多く出されることを期待したもので、賛成する。

○指定管理者制度の方針を変え得る十分な条件とは言いがたい。地元で管理運営が可能な事業者がいるにもかかわらず市外事業者へ門戸を広げることは、地域内経済循環の観点から到底容認できず、反対。



○指定管理者の指定について

弘前れんが倉庫美術館等の指定管理者を指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものです。

指定管理者：弘前芸術創造株式会社

指定の期間：令和2年4月1日～令和17年3月31日

人事案件 1件

○人権擁護委員候補者の推薦について（3名）

ふくし しげる とのさきゆういち
福士 滋 氏(再任)、外崎祐一氏(再任)、
たなか ひとし
田中 均 氏(再任)

請願 1件

○若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の請願 …… 不採択

陳情 4件

※陳情書は議員に参考配付しました。

○令和2年度私立幼稚園助成に関する陳情書

○チメロサルフリー（防腐剤として水銀化合物を含まない）のワクチンを推奨して欲しい陳情

○放射性物質の検査を毎月、給食の食材に対して実施して欲しいお願い

○「発癌性物質『グリサホート』成分を含む商品に『発癌性物質が含まれています』と表示義務を課して欲しい陳情」

議員発議 1件

意見書

○西十和田トンネル(仮称)早期建設を求める意見書

緊急質問 5人

○市職員の情報流出に関する内容の緊急質問が行われました。

質問者 木村隆洋、今泉昌一、佐藤 哲、越 明男、工藤光志

※敬称略、議席番号順に記載。

令和元年第3回定例会日程 (22日間) ○傍聴者数：66人

11月29日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	12月17日(火) 常任委員会	予算決算
11月30日(土)～12月9日(月)	議案熟考	特別委員会	りんご産業振興
12月10日(火)～12月12日(木)		12月18日(水)～12月19日(木)	議事整理
本会議	一般質問	12月20日(金) 常任委員会	厚生
12月13日(金) 本会議	一般質問、議案付託、緊急質問	本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
12月16日(月) 常任委員会	経済文教、建設総務、厚生		

昨年は延べ**320**人が傍聴しました。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。



一 般 質 問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



野村 太郎
(創 和 会)

幼保無償化について

問 これまでの経過と現在の状況は。

答 市では事前に説明会の開催やチラシの掲示など保護者や関係者に対し理解と周知を図ってきた。無償化制度の開始から2カ月経過したが、全国的に懸念された利用申込みの大幅な増加や事務手続き等に関するトラブルなどの報告はなく、円滑に実施できているものと考えている。

防災行政無線について

問 誤報の経過とその後の対応は。

答 今回の誤放送で聞き取りにくい状況などを改めて認識することとなり、気象条件などの影響により防災行政無線のみでの情報伝達は難しい状況となっている。今後は放送システムの管理体制の強化を図るほか避難勧告等の緊急放送は肉声を基本とするが、迅速性かつ確実性を考慮し録音による放送の可能性を探る。

〈その他の質問項目〉○弘南鉄道大鰐線



松橋 武史
(滄 洸 会)

民間会社等への行政注意について

問 改善を求めて実現した例は。

答 弘前公園付近の店舗の広告塔が屋外広告物条例施行前は設置可能な高さだったが、施行後は上限を上回っていた。景観保全の趣旨を理解していただき撤去に至った例があった。また飲食店に設置していた室外機の騒音が騒音規制法の基準を上回っているおそれがあり、飲食店側が速やかに修理し問題解決に至った例も

あった。市民や企業等と協働し「あずましさ」が実感できるまちづくりを進める。

保護司について

問 市の考えを問う。

答 更生の道に寄り添い地域社会の安全及び住民福祉の向上に尽力されていることに深く敬意を表する。保護司が活動しやすい環境づくりに向けて意見を伺いながらサポートに努めるとともに保護司の役割を市広報等で理解促進を図っていく。



木村 隆洋
(創 和 会)

小・中学校冷房設備の設置工事について

問 補正予算に関する専決処分を問う。

答 市立小・中学校全校の普通教室及び音楽室に冷房設備を設置する事業において、約1億3千万円の予算が不足する事態が生じ、工期を確保するためには10月25日までに予算上の措置が必要なため専決処分をした。予算積算の甘さと関係部局との連携不足が原因であり、今後は、適正な事務執行に努めていく。

事業系ごみの搬入規制について

問 12月から搬入規制となった事業系ごみを問う。

答 今回の搬入規制は、ごみの出し方を誤解している一部の事業者に正しい出し方を改めて確認してもらうものである。事業者への周知啓発や事業所訪問を継続して、廃棄物の適正処理を推進していく。
〈その他の質問項目〉○未来の担い手・地域づくり推進委員会主催のポスター展



外崎 勝康
(木 場 公 明)

樋の口浄水場等建設事業について

問 事業計画等を問う。

答 令和8年3月までに建設完了、同年4月から令和23年3月までの15年間で運転管理を実施する予定。

弘前市ごみ出しサポート事業について

問 事業の概要及びスケジュールを問う。

答 対象世帯の要件は、原則として、介護保険の認定を受け、介護保険サービスを利用する高齢者や、身体障害者手帳等

の交付を受け、障害福祉サービスを利用する障がい者のみの世帯である。令和2年1月6日に受付開始、3月中旬までに可否決定、4月にサポートを開始予定。

高齢ドライバーの免許証返納について

問 運転免許証返納後の生活利便性は。

答 公共交通の運賃を軽減する「お出かけシニアパス」は、免許証自主返納者へ優先的に交付し、申込者は、平成31年度が200名の枠に330名で年々増加。



福士 文敏
(創 和 会)

防犯カメラの設置状況について

問 設置に対する利点や課題、設置完了までの状況等について。

答 平成26年度、弘前大学周辺地域に20基、市立小中学校に94基を設置している。犯罪抑止の効果や犯罪発生後の犯人追跡による早期解決などに効果がある一方、個人のプライバシーを侵害しないよう十分な配慮が必要となり、住民の理解と合意が必要不可欠である。設置には、

地元住民や警察などを行う現地調査やワークショップによる設置箇所の選定、地域説明会、設置先の許可や承諾など約7カ月を要している。安全・安心な地域づくりを推進するため、防犯カメラの設置は犯罪の未然防止を図る有効な手段であり、今後、検討してまいりたい。

〈その他の質問項目〉

○岩木川市民ゴルフ場の利用状況

○人事行政の運営等の状況について



蒔 苗 博 英
(創 和 会)

農業行政について

問 黒星病撲滅、農地集積対策について。

答 りんご放任園緊急対策交付金事業の活用実績は、本年11月末時点で実施件数18件、処理面積約9.6haである。耕種的防除作業に係る委託費や機械借上費を支援するりんご黒星病耕種的防除対策事業を実施し、感染リスク低減に向け農業委員会等と連携し放任園対策に取り組む。農地中間管理事業により、農地は合計

329.1haが担い手に集積されている。また、機構集積協力金の交付単価等の見直し、貸借に係る手続期間の短縮など、より活用しやすい仕組みに改善されている。

市内体育施設のトイレ改修計画について

問 洋式化の進捗状況について。

答 市内27施設において、男子118基のうち洋式便器50基、女子206基のうち洋式便器87基であり、施設利用状況を勘案し、優先順位をつけて改修を進めたい。



蛸 名 正 樹
(創 和 会)

指定管理者の指定について

問 募集条件について。

答 指定管理者制度の一義的な目的は、公の施設管理に民間事業者の創意工夫や活力を生かし、市民サービスの向上と経費削減である。指定管理者は地元事業者の育成や地域経済の活性化、雇用確保等の観点から市内に本店、本部を有することを原則とし、全ての施設に市外事業者も応募できることを想定したものではな

く、市内に業務を行える団体がいないと想定される場合と市内団体に比べ効果的・効率的な管理運営や活用方法、市民サービスの向上が見込まれる場合に限り認める例外的な措置であり、個別施設の管理方針や事情等を踏まえ運用している。

公共工事の発注について

問 発注、施工時期の平準化について。

答 ゼロ市債による早期発注など、発注時期や施工時期の平準化に努める。



齋 藤 豪
(滄 洗 会)

道路維持管理について

問 補修は計画的に行われているのか。

答 老朽化により市民生活に影響を及ぼしている舗装や側溝に関しては、早急な補修が必要であり、幹線道路での舗装改修や、住宅団地内全体の側溝改修については、社会資本総合整備計画や個別施設計画を策定し、国からの交付金などを有効に活用しながら、計画的に補修を進めているところである。

空き家対策について

問 当市の空き家対策の現状を伺う。

答 弘前市空き家・空き地バンクを平成30年度から弘前圏域8市町村へと拡大して運営。また、バンク登録物件を対象に、成約した場合には補助金を交付している。このような市の取り組みのほか、空き家問題に対する市民の意識向上等により、平成30年度末の空き家数は平成28年度より171件減少し、1,241件となっている。



佐 藤 哲
(滄 洗 会)

市立病院の建物について

問 前川建築としてどう扱うのか。

答 市立病院の建物は近代建築の巨匠「ル・コルビュジエ」のもとで建築を学んだ前川國男の作品。市は庁舎など前川建築のオリジナリティを尊重し保存改修を実施してきたほか、全国の9自治体で近代建築の観光資源化の促進等を目的とした活動を行うなど貴重な財産として保存活用している。市立病院跡の活用策も

これまで同様に前川建築として保存活用するため、必要な作業を進めていく。

学校給食における食材費について

問 公費一部負担の可能性はあるか。

答 学校給食法第11条で食材に係る経費は保護者負担と定めているが、文部事務次官通達では自治体の負担を禁止する趣旨ではないとの見解もある。10月に値上げした効果を見ながら、他市町村から情報収集し充実した給食の提供に取り組む。



一 戸 兼 一
(弘 新 会)

弘前れんが倉庫美術館と周辺整備事業について

問 表現の自由等に関する「憲法第21条」について市と受託事業者の対応は。

答 公立美術館の設置者である市としては、反日などの政治的な宣伝につながるような作品の展示に関して、憲法第21条の定めを遵守した上で、公共性を有する施設として、施設の設置目的や作品の収集方針に基づき、秩序を乱すことなく、

適正に管理するために展示計画に係る事前協議などを通じて、随時確認していく。

問 市が負担する光熱水費等の経費、土地・建物の購入時から開館後15年間の運営費までの総事業費は。

答 光熱水費については、年額2,360万円程度と試算している。また、用地を取得した平成27年度から令和16年度末までの吉野町緑地周辺整備事業費の総額は、約53億3,540万円である。



鶴ヶ谷 慶市
(木揚公明)

ふるさと納税返礼品について

問 弘前公園の桜苗木を返礼品とすることについて。

答 弘前公園の桜を全国にPRできる返礼品と考え、桜の枝を接木した苗木を商品化できるかどうか、可能性を探りたい。

冬山遭難・事故救助体制について

問 市消防団のスノーモビル隊について。

答 市の山岳遭難事故に関しては、岩木山もしくは岩木山周辺が大半を占めてお

り、現地を熟知している日赤岩木山パトロール隊からの情報や意見を求め遭難捜索体制を決定している。冬山の事故では、天候などの影響により県警ヘリ、防災ヘリがフライトできない可能性も高く、スノーモビルの持つ機動力や迅速性を活用した情報収集、人員搬送、物資搬送などの支援活動は非常に有効なものと考えており、まずは当市消防団員のスノーモビルの保有状況、経験等の確認を行いたい。



竹内 博之
(さくら未来)

事業承継支援について

問 必要性を問う。

答 2025年頃には人口減少や少子高齢化に伴う人口構造に拍車が掛かり、人手不足や後継者不足の深刻化が予想され、事業運営に深刻な影響を及ぼすおそれがあることから、事業承継や後継者育成に積極的に取り組む必要があると考えている。

今冬の雪対策事業について

問 プランの進捗状況は。

答 雪対策を市の喫緊の課題と捉え、市総合計画においてもリーディングプロジェクトとして課題の解決に向け、様々な取り組みを行うこととしている。雪対策の推進に当たっては、その基となる市雪対策総合プランの改訂作業中であるが、今冬の除排雪事業は市総合計画と整合を図りながら取り組むこととしている。

〈その他の質問項目〉○事業評価とスクラップ・アンド・ビルドについて



千葉 浩規
(日本共産党)

平川・腰巻川の洪水浸水想定区域の公表について

問 腰巻川が昨年・今年と南大町や城東5丁目付近等で溢水。こうした中で、今回、公表された平川・腰巻川の洪水浸水想定区域についての当市としての認識、今後の対応について答えよ。

答 水防法の改正により、河川の氾濫を想定する降雨が、約30年に一度の計画降雨から、約千年に一度の想定最大規模降

雨へと変更になったことから、県で見直し作業を行い、本年改めて指定・公表となった。防災上重要な河川であると認識しており、今後、すでに指定・公表がなされている国管理河川の「岩木川」等の洪水浸水想定区域も含めたハザードマップを、来年度の秋口までに作成したい。

〈その他の質問項目〉○市道松森町停車場線の交通安全対策○弘前市ごみ出しサポート事業○市立小中学校の防災機能



成田 大介
(無所属)

幼児ことばの教室について

問 活動内容と現状を問う。

答 小学校入学前の子供の発達における心配な点について、保護者から相談を受け、覚えていることばの数や発音など、ことばに関することに加え、人との関わりや生活習慣などについても、指導・支援を行っている。平成30年度の通級幼児数は186名、個別指導のべ回数は2,188回となっており、年々増加傾向にある。

LGBT等の市民が安心して暮らせるまちづくりについて

問 市の具体的な取り組みについて問う。

答 職員への意識啓発として、新任課長補佐級及び新任係長級職員に対し、性的マイノリティの研修を初めて実施した。市の職員が正しい知識を持ち、理解を深めていくことが必要であると考えている。

〈その他の質問項目〉○幼保無償化
○小・中学校の冷房設備設置事業



石山 敬
(創和会)

子供食堂支援について

問 個人的な感覚としては、子供食堂に対する関心が高まってきているように思うが、当市の子供食堂の状況と市における支援状況について問う。

答 市では子供食堂に対する補助制度は実施していないが、活動している方々に対し、独立行政法人や公益財団法人などが実施している補助制度や、セミナー開催などの情報を提供するとともに、希望

を受けて、活動の周知協力などを行っている。子供食堂に限らず、地域において多様な居場所づくりが進められることにより、様々な課題を抱えた人々の支援が広がるものと考えられることから、今後も国の政策の動向などを注視しながら、活動へのサポートを継続していく。

〈その他の質問項目〉
○学校敷地内の雑木の管理について
○鳥獣害対策及び支援について



工藤 光志
(木場公明)

企業誘致の必要性について

問 市の見解を問う。

答 高校や大学の卒業で転出するケースが多いと捉えており、その課題解決のポイントは、若年層の市内定住を促進するための働く場の創出であり、既存立地企業の業務拡大や新たな企業誘致の推進が重要だと認識している。日頃から情報収集を行い支援のあり方等の検討や多種多様な情報交換等を実施しており、今後も

特性を活かした幅広い業種の企業誘致につながるような様々な活動を展開していく。

専決処分(地方自治法第179条)について

問 解釈と認識について。

答 臨時会の招集が困難となった際に、住民サービスの停滞を防ぐ等やむを得ない場合に限定して専決処分が用いられる。市民に対して説明がつくことを前提に十分な客観性と合理性をもって、長において適切に判断すべきものと考えている。



坂本 崇
(無所属)

弘前公園の紅葉見物客について

問 入り込み状況について伺う。

答 弘前城菊と紅葉まつりは10月18日からの24日間で開催、好天にも恵まれ、昨年よりも1万3千人多い、39万8千人の人出となった。期間終了後も園内の紅葉の見頃が続き、外国人観光客が11月下旬まで園内を散策する姿が多く見られ、本丸等の有料区域への入場者数もまつり終了後から11月23日の有料期間最終日まで

で、昨年比で2千人以上増加している。

授乳・おむつ交換スペースについて

問 弘前公園の設置状況について伺う。

答 授乳室は、弘前城情報館、緑の相談所、武徳殿休憩所に設置している。おむつ交換スペースは、弘前公園内に17カ所ある多目的トイレのうち、16カ所におむつ交換が可能な交換台が設置されている。

〈その他の質問項目〉

○弘前さくらまつりの仮設トイレ



石田 久
(日本共産党)

国民健康保険について

問 国保財政について。

答 平成28年度から単年度黒字化が図られ、平成30年度には約7億2千万円の黒字となった。平成29年度からは地方単独事業としての医療費助成による国庫支出金減額分や保健事業費など市の施策として実施する事業に対する繰入として、1億8千万円の政策的繰入を実施している。

問 市内の施設状況と整備方針について。

答 有料老人ホームが63カ所で1,991戸、サービス付き高齢者向け住宅は27カ所で600戸設置。特別養護老人ホームの入所待機者数は平成31年4月時点で355人となっており、令和3年度から始まる第8期介護保険事業計画以降は必要な介護サービス量の見込みを推計し、地域密着型サービスや特別養護老人ホーム等の施設整備も含めて検討していく。

高齢者の住まいについて



石岡 千鶴子
(無所属)

弘前地区消防事務組合管内におけるトリアージの導入について

問 救急搬送時などに占める軽症者の割合及びトリアージ導入の検討状況は。

答 市内の平成30年1月から12月までの救急搬送件数に占める軽症者の割合は、弘前地区消防事務組合の集計では約32%。当市で集計している平成30年度の二次救急輪番病院の受診患者数に占める軽症者の割合は約82%。二次救急輪番病院の医

療スタッフの負担が大きくなっていることから、救急医療の役割や利用の仕方に関する周知・啓発に取り組む。弘前地区消防事務組合ではコールトリアージ導入は現在のところ検討していないとのこと。

フッ素洗口法による齲歯予防について

問 保育園等で取り組みができないか。

答 幼児期からの虫歯予防は非常に重要だと認識している。保育園等でのフッ素洗口の先進事例について研究していく。

議案等に対する各議員の賛否状況

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。退は退席。－は採決に加わらなかったもの。

議案等名	採決結果	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	蛭名正樹	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英
弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
弘前市特別職の職員の給料等に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
指定管理者の指定について【弘前市民会館】	否決	●	●	○	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●
指定管理者の指定について【弘前れんが倉庫美術館等】	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●



越 明 男
(日本共産党)

観光地域づくり法人について

問 法人設立に向け、当市の対応は。
答 平成28年には市単独での設立を検討していたが、平成30年からは津軽圏域14市町村をマネジメントエリアとして、津軽圏域の周遊や滞在時間を延ばすことで観光消費の機会を増加させ、稼げる地域づくりに寄与する取り組みを行う地域連携型DMOの設立を目指すこととした。この方向性のもとDMO推進室を設置し、

より具体的な役割の検討、地域の関係者との合意形成など情報共有を図りながら令和2年4月の法人設立を目指している。
弘南鉄道大鰐線について
問 大鰐線への市の基本的対応は。
答 市民の足として鉄道路線を維持するために、弘南鉄道株式会社が必要とする支援をしていく関係が望ましいと考えており、弘南鉄道の関係市町村や会社と協議を継続している。



今 泉 昌 一
(さくら未来)

観光行政について

問 通年観光・滞在観光への取り組みは。
答 1月から3月の宿泊者数の合計で比較すると、平成30年は11万5千人で、平成23年の9万3千人に対し、23%の増加となっており、市の観光行政における取り組みの成果が現れてきているものと認識している。今後も「滞在型・通年観光」を推進し、地域経済の活性化を目指していく。

町会の現状と今後について

問 町会活動支援に対する市の考えは。
答 各町会が抱える課題解決に向けた自主的な取り組みを支援する町会活性化支援補助金、次の担い手を育成するための取り組みや、町会便りの作成講座を実施している。また、市職員が町会と市とのつなぎ役として町会の課題解決を支援するエリア担当制度など、町会を応援し、支えていく取り組みを実施している。

**議 会 を 傍 聴
し ま せ ん か**

議会（本会議、委員会など）は原則、どなたでも傍聴できます。市役所前川本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

次回定例会日程（予定）

- (2月14日(金) 議会運営委員会 会期日程等の協議)
- 2月21日(金) 開会日 (本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
- 3月19日(木) 閉会日 (本会議) 各委員長長の報告、質疑、討論、表決、閉会

※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

定例会の一般質問等のラジオ放送

FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合も有り

議長（清野一榮）は採決に加わっていません。
 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

松橋 武史	今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡 千鶴子	一戸 兼一	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	退
○	○	○	○	●	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	-	●	●	●

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索 システム、議会の日程など、市議会の情報はこちらでご覧いただけます。



表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ (JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合、件名は「だより表紙写真」と入力。
- ◎締め切り 締め切りは令和2年7月10日(金)です。また、応募写真が必ずしも採用されるとは限りません。

【詳しくはホームページ、または議会事務局へ】

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどお気軽にご連絡ください。

令和元年第3回定例会審議結果

※議会での慎重審議により、1件を除き承認、可決、同意となりました。否決となった議案は左表のとおりです。

市長提出議案：31件

予算関係：9件、条例関係：10件、その他：12件

議員発議：1件

委員会等活動報告

議会運営委員会

- 10月21日(月) 市役所
 ①議会基本条例の検証について
 12月20日(金) 市役所
 ①議会基本条例の検証について

ひろさき市議会だより編集特別委員会

- 10月30日(水) 市役所
 ①掲載内容について
 12月20日(金) 市役所
 ①掲載内容について
 ②編集日程について
 ③その他

経済文教常任委員会

- 市連合父母と教師の会役員との懇談会**
 11月20日(水)
 弘前市総合学習センター
 ①学校教育における課題・問題に係る懇談



市連合父母と教師の会役員との懇談会の様子

厚生常任委員会

社会福祉協議会役員との懇談会

- 10月23日(水)
 弘前市社会福祉センター
 ①地区社会福祉協議会との協働
 ・除雪支援事業
 ・敬老大会開催事業
 ②その他

医師会役員との懇談会

- 10月28日(月)
 弘前市医師会館
 ①最近の医療情勢について
 ②その他

保育研究会役員との懇談会

- 10月25日(金)
 弘前プラザホテル
 ①弘前市における保育業界の現状と課題
 ②その他

体育協会役員とのスポーツ振興懇談会

- 10月31日(木) ラグリー
 ①体育施設の利用状況について
 ②主な大会等の開催状況について
 ③令和2年度弘前市への要望について



保育研究会役員との懇談会の様子

りんご産業振興特別委員会

- 12月17日(火) 市役所
 ①要望活動について
 ②今後の活動について
 ③その他

委員会行政視察

ひろさき市議会だより編集特別委員会

- 11月14日(木)
 ①青森市
 ○議会だよりの編集について

会派一般行政視察

さくら未来・無所属議員(石岡千鶴子、坂本崇、成田大介)

- 11月4日(月)～6日(水)
 ①東京都調布市
 ○子ども・若者総合支援事業について
 ②東京都あきる野市
 ○創業就労事業承継支援事業(あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Sta)について
 ③埼玉県入間市
 ○西洋館保存活用整備事業について
 ④東京都北区
 ○子どもの未来応援プロジェクトについて



調布市総合福祉センターにて



酒田市立美術館にて

弘新会

- 11月14日(木)～15日(金)
 ①岩手県盛岡市
 ○もりおか歴史文化館について
 ②秋田県秋田市
 ○中心市街地にぎわい創出について



秋田市議場にて

日本共産党

- 11月8日(金)～9日(土)
 ①山形県酒田市
 ○市立美術館の運営について